3.2. 工作物

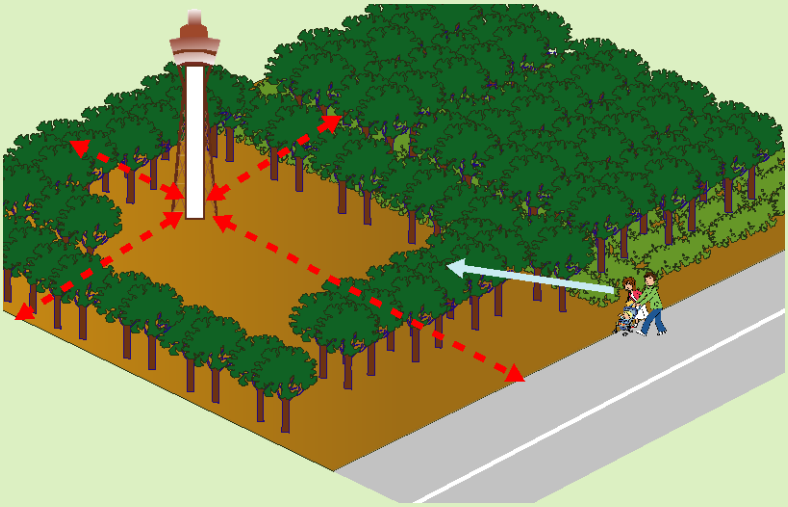
位置

全 **商**

道路等に接する敷地境界線からは、可能な限り後退した位置とすること。

□道路や隣接する敷地境界線から後退させることにより、自然と調和したまちなみをつくりだすことができます。

道路に近い位置にあると、歩行者などの目につきやすく、自然の風景を阻害する要因になっています。



道路から遠い位置に設置することで、歩行者などから目立たなくなっています。

位置

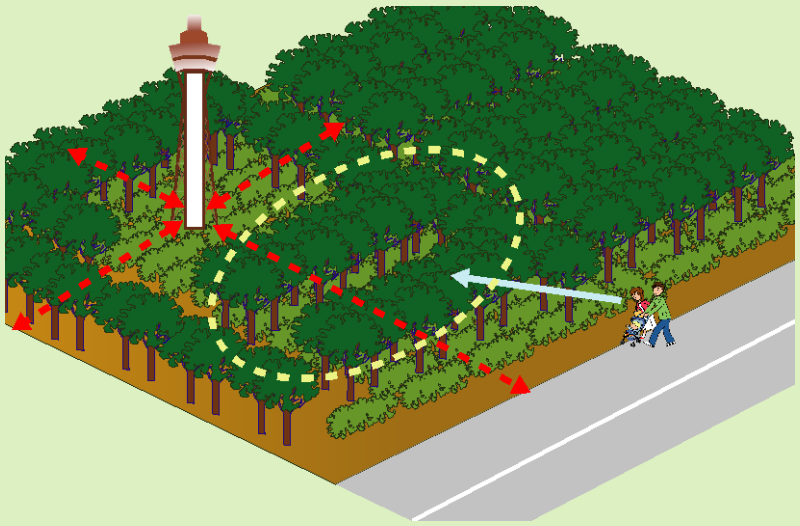
環 別

外壁は、道路、敷地境界から、可能な限り後退させ、道路とのスペースに修景緑化を図ること。

□道路や隣接する敷地境界線から後退させることにより、自然と調和したまちなみをつくりだすことができます。

□さらに、道路とのスペースを緑化することにより、自然の風景に配慮することができます。

道路に近い位置にあると、歩行者などの目につきやすく、自然の風景を阻害する要因になっています。



緑化をおこない、工作物を遮へいすることにより、自然の風景を保っています。

規模

全 商

周辺の景観と調和した高さ、規模に努める。

□スカイラインをそろえると、すっきりとしたまちなみになります。

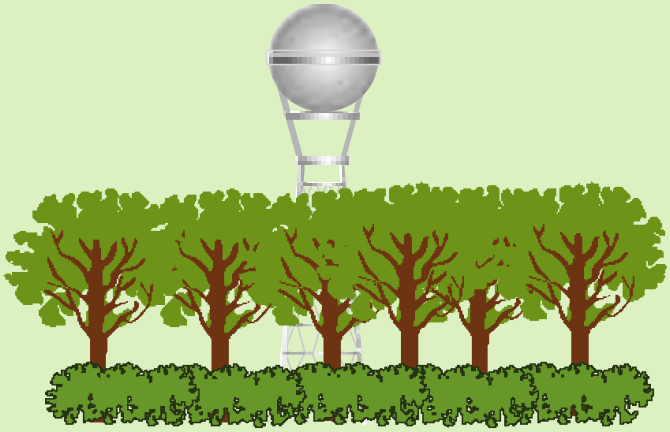
適切な規模にしたため、山々の眺めが守られています。

規模

別

可能な限り周辺の樹林の高さと調和するよう配慮すること。

□規模を工夫することによって、工作物と自然景観が調和したまちなみをつくりだすことができます。



周辺の樹林より高さが高いため、工作物が目立っています。

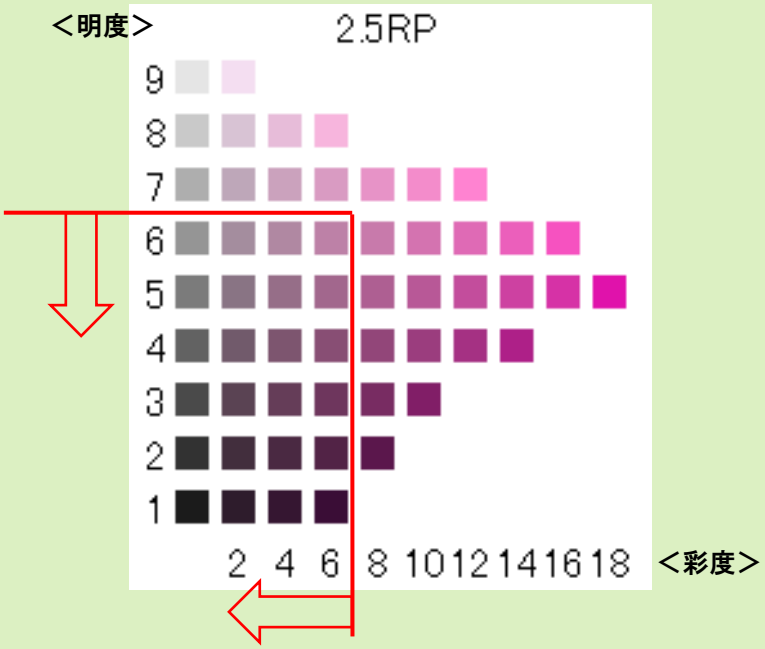
複数設置するなど、高さを抑えることで、周辺の樹林の高さと調和して、工作物が目立たなくなります。

色彩

全 商 環 別

可能な限り、周辺の景観と調和が図れる色彩に努めること。

□建築物の全域と同じ基準です。（詳細は 42 ページから）



外壁、屋根の色彩は、極力中明度、中彩度以下とし、周辺景観との調和を図ります。

※中低明度以下：6.0 以下、中低彩度：6.0 以下

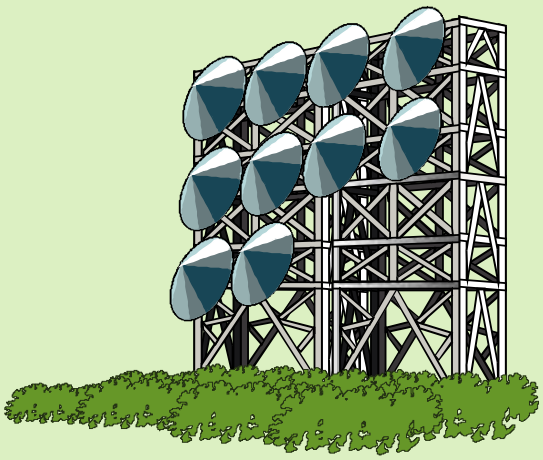
使用する色彩又は表面に着色していない自然石、木材、土壁、ガラス等の素材本来が持つ色彩については、この基準は適用されません。

緑化

全 商 環 別

大規模な工作物にあっては、高木などにより緑化し、緑豊かな空間の創出に努めること。

□工作物のまわりを緑化することにより、緑が潤うまちなみをつくりだすことができます。



高木を周辺に緑化することで、工作物が目立たなくなります。

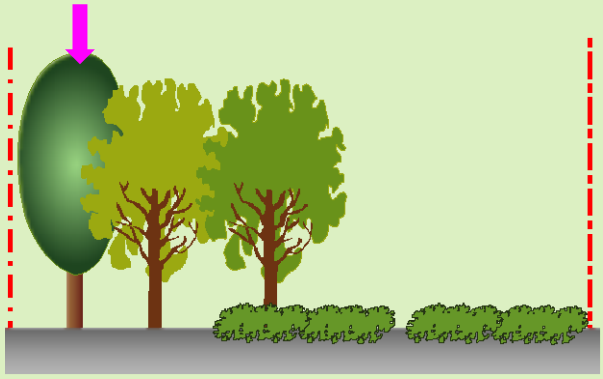
緑化

全 商 環 別

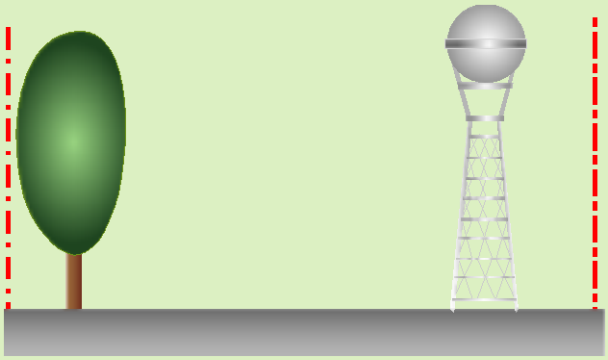
優れた既存の樹木がある場合には、修景保存に配慮すること。

□敷地内に優れた樹木がある場合は、これらをできるだけ修景に生かし、緑が潤うまちなみをつくりだすことができます。

樹姿や樹勢の優れた樹木

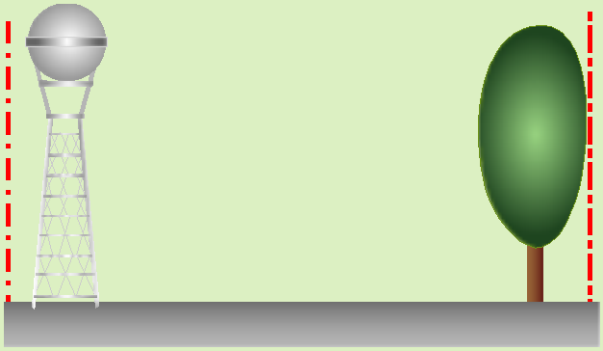


■現在の位置に残すことが可能な場合



優れた樹木を残すことで、風景が保全されます。

■現在の位置に残すことが困難な場合



同一敷地内に、優れた樹木を移植することで、自然景観が保全されます。

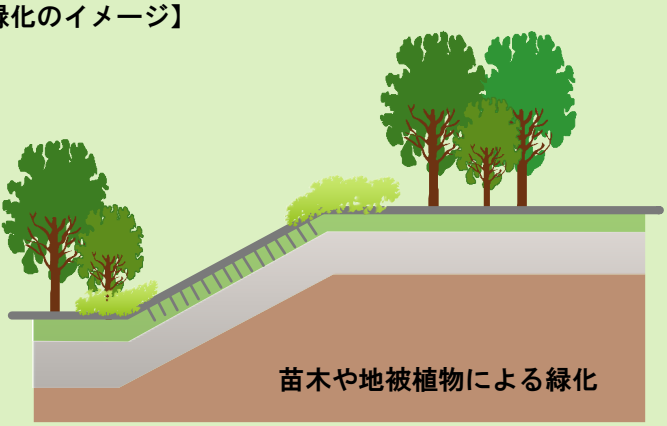
3. 3. 土石採取、その他土地の形質変更

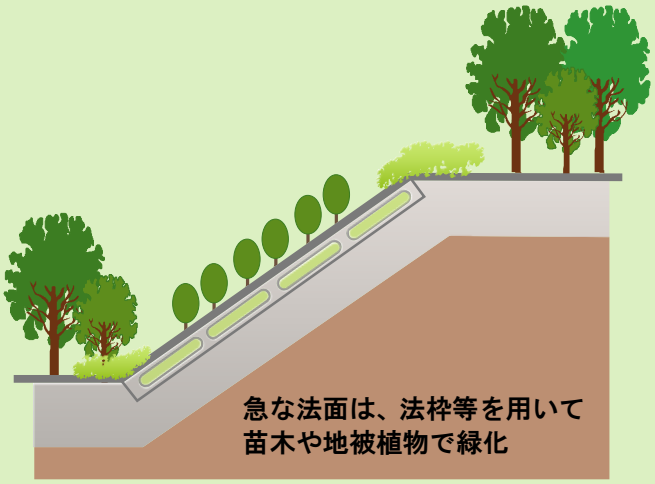
変更後の形状

全 商 環 別

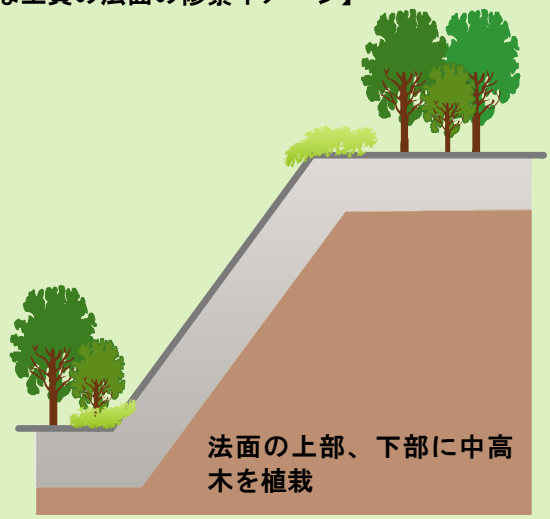
長大な法面が生じないように努めること。やむを得ず法面が生じる場合には、法面は緑化可能な勾配とし、周辺景観との調和に配慮し、十分な緑化を行うこと。

【法面緑化のイメージ】





【緑化が困難な土質の法面の修景イメージ】



3.4. 木竹の伐採

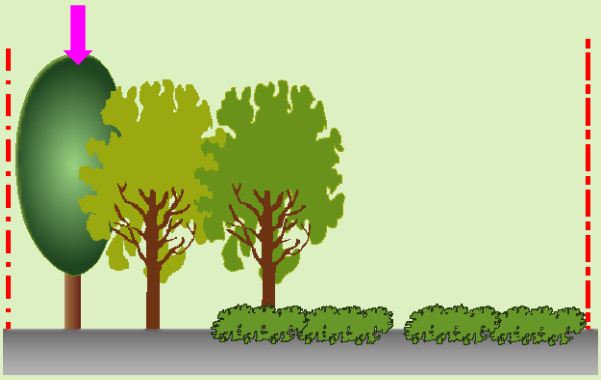
伐採の方法

全 商 環 別 普

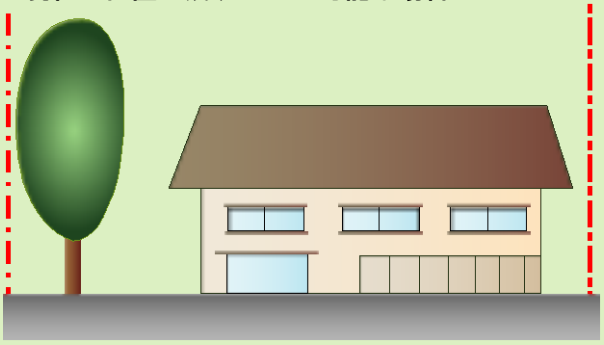
優れた樹木は、できる限り伐採せず、その周囲に移植すること。

□敷地内に優れた樹木がある場合は、これらをできるだけ修景に生かし、緑が潤うまちなみをつくりだすことができます。

樹姿や樹勢の優れた樹木

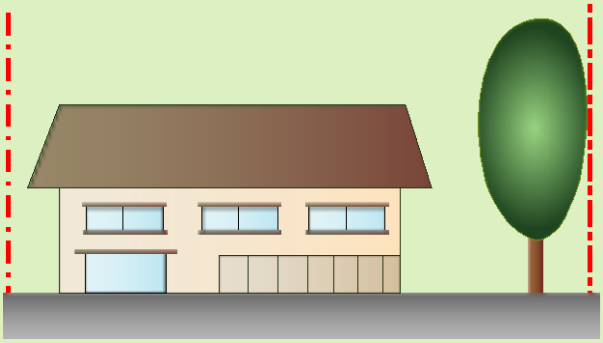


■現在の位置に残すことが可能な場合



優れた樹木を残すことで、風景が保全されます。

■現在の位置に残すことが困難な場合



同一敷地内に、優れた樹木を移植することで、自然景観が保全されます。

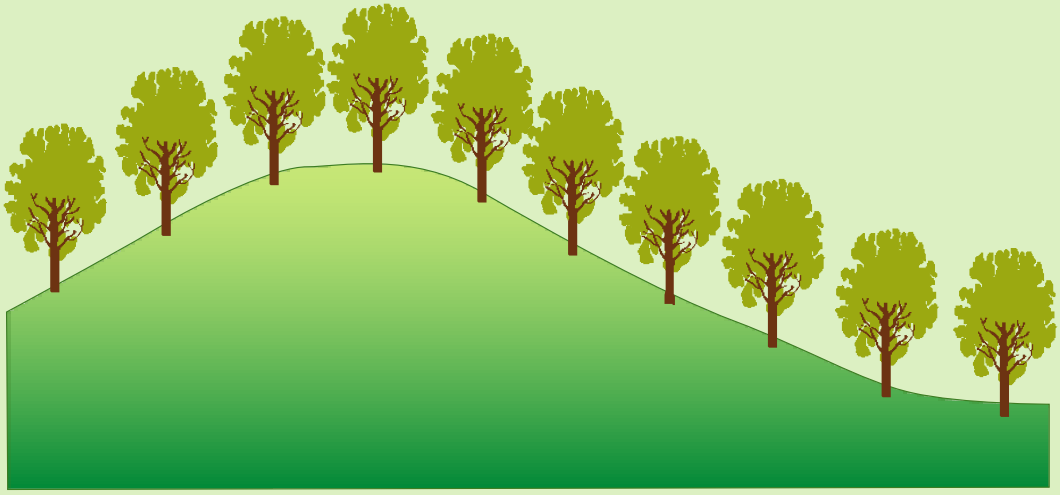
伐採の方法

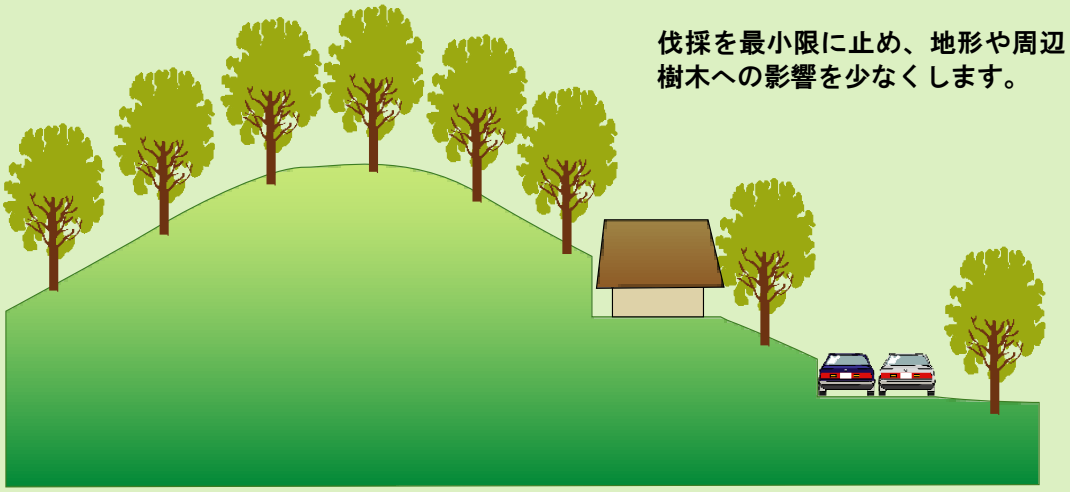
環 別 普

木竹の伐採を行う場合は、必要最小限に留めること。

□既存樹林の伐採は、最小限にとどめることにより、景観上重要な役割を担う樹木を保全します。

【既存樹林の保全イメージ】





伐採を最小限に止め、地形や周辺樹木への影響を少なくします。

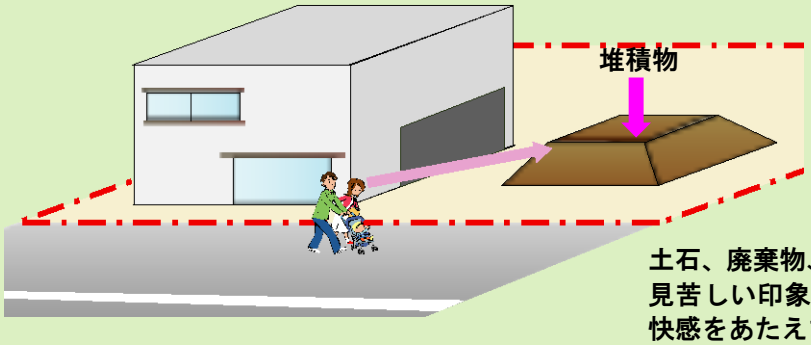
3.5. 屋外における物品の集積又は貯蔵

集積又は貯蔵の方法

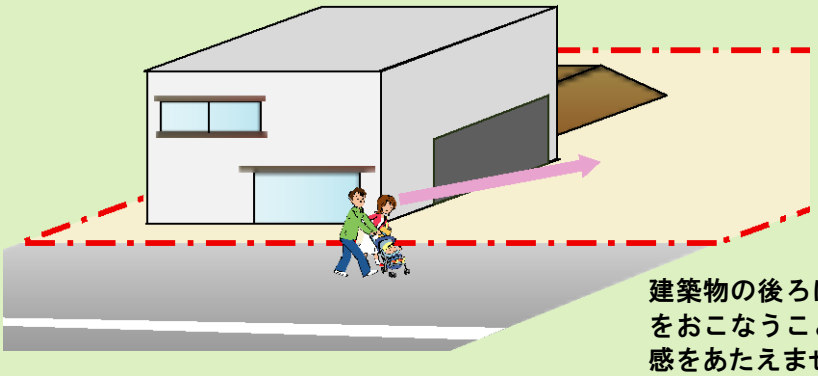
全 商 環 別 普

道路等から見えにくいように努めること。

□物品などを歩行者等から目につきにくい場所に堆積させることにより、不快感をあたえないまちなみをつくりだします。



土石、廃棄物、再生資源の野積みは、見苦しい印象を与え、歩行者等に不快感をあたえます。



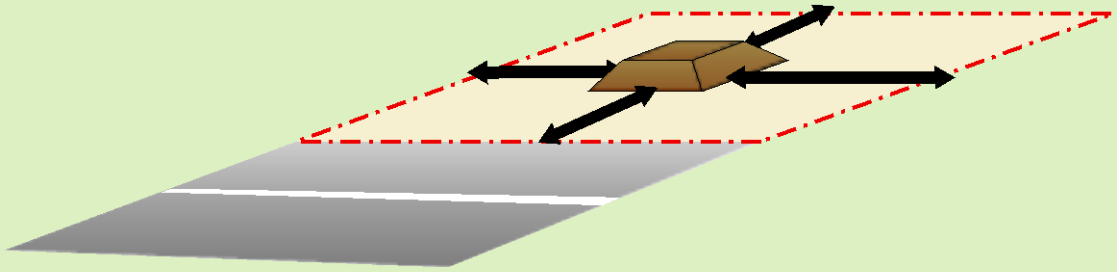
建築物の後ろに配置するなどの工夫をおこなうことで、歩行者等に不快感をあたえません。

集積又は貯蔵の方法

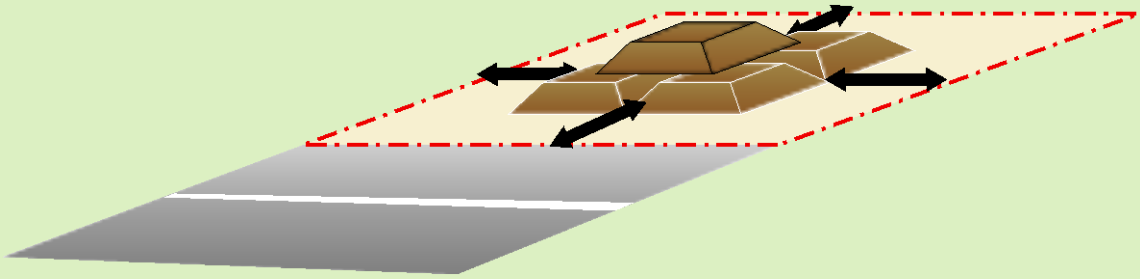
環 別 普

道路、敷地境界等からできるだけ遠隔地から堆積を始めること。

【集積、貯蔵の方法のイメージ】



なるべく道路や敷地境界から遠い場所から集積・貯蔵を行い、周辺への影響を軽減します。



遮へい

全 商

周辺の道路等からの遮へいに配慮し、敷地周囲の緑化に努めること。

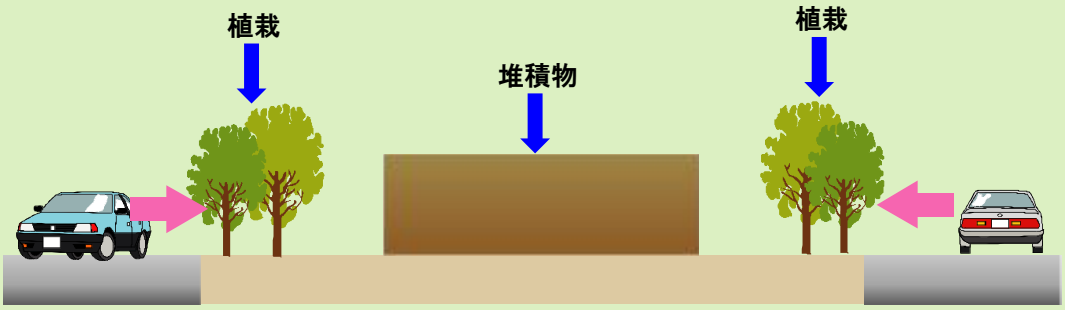
環 別 普

敷地周囲の緑化を行う等周囲の道路等からの遮へいを行うこと。

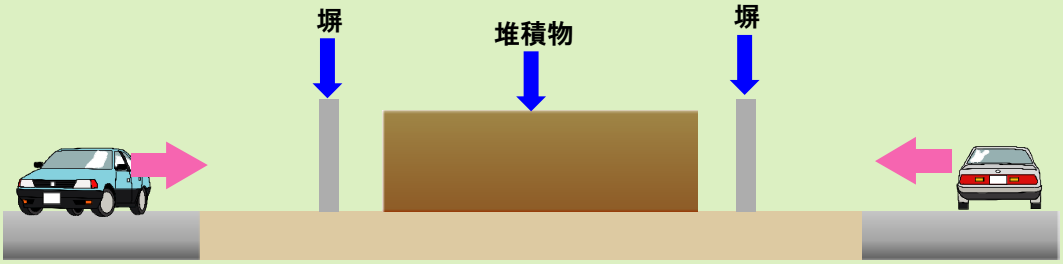
□屋外照明に配慮することによって、動植物への影響を低減することができます。

【遮へいのイメージ】

■植栽による遮へい



■塀による遮へい



■植栽と塀による遮へい

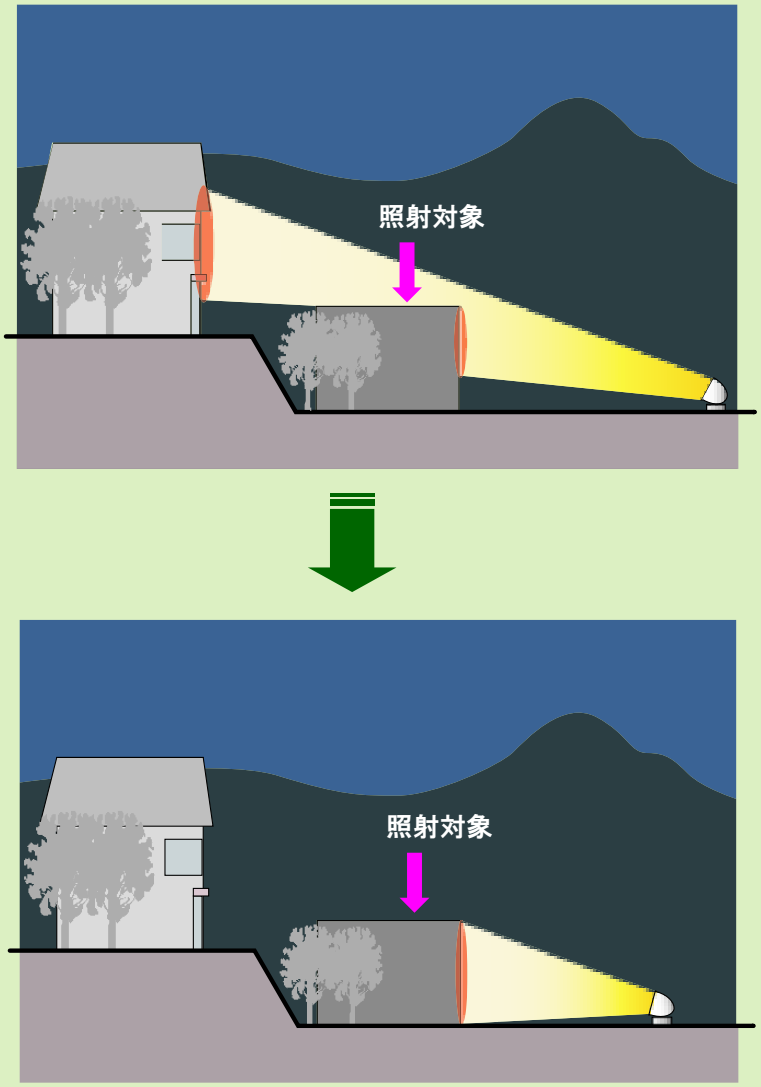
3. 6. 特定照明

特定照明

全 商 環 別 普

周辺の住環境や交通環境、生態系、農作物等に対して光害とならないように配慮する。

□夜間における屋外照明に配慮することによって、光害の環境をつくりだすことができます。



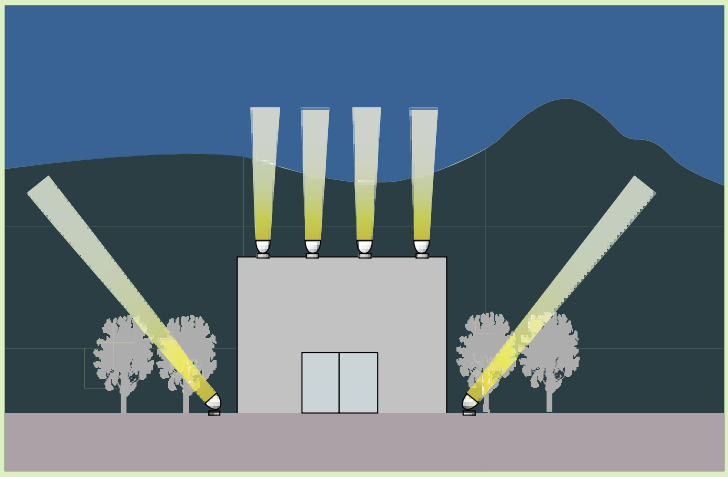
地域の夜間景観を損なう過度の明るさ、必要以上に広い範囲への照射は、避けるようにしましょう。

特定照明

商

賑わいと品格が感じられる夜間景観を形成するよう配慮した照明方法や色彩に努めること。

□特定照明を適切な照明方法や色彩とすることで、賑わいと品格が感じられる夜間景観がつくりだされます。



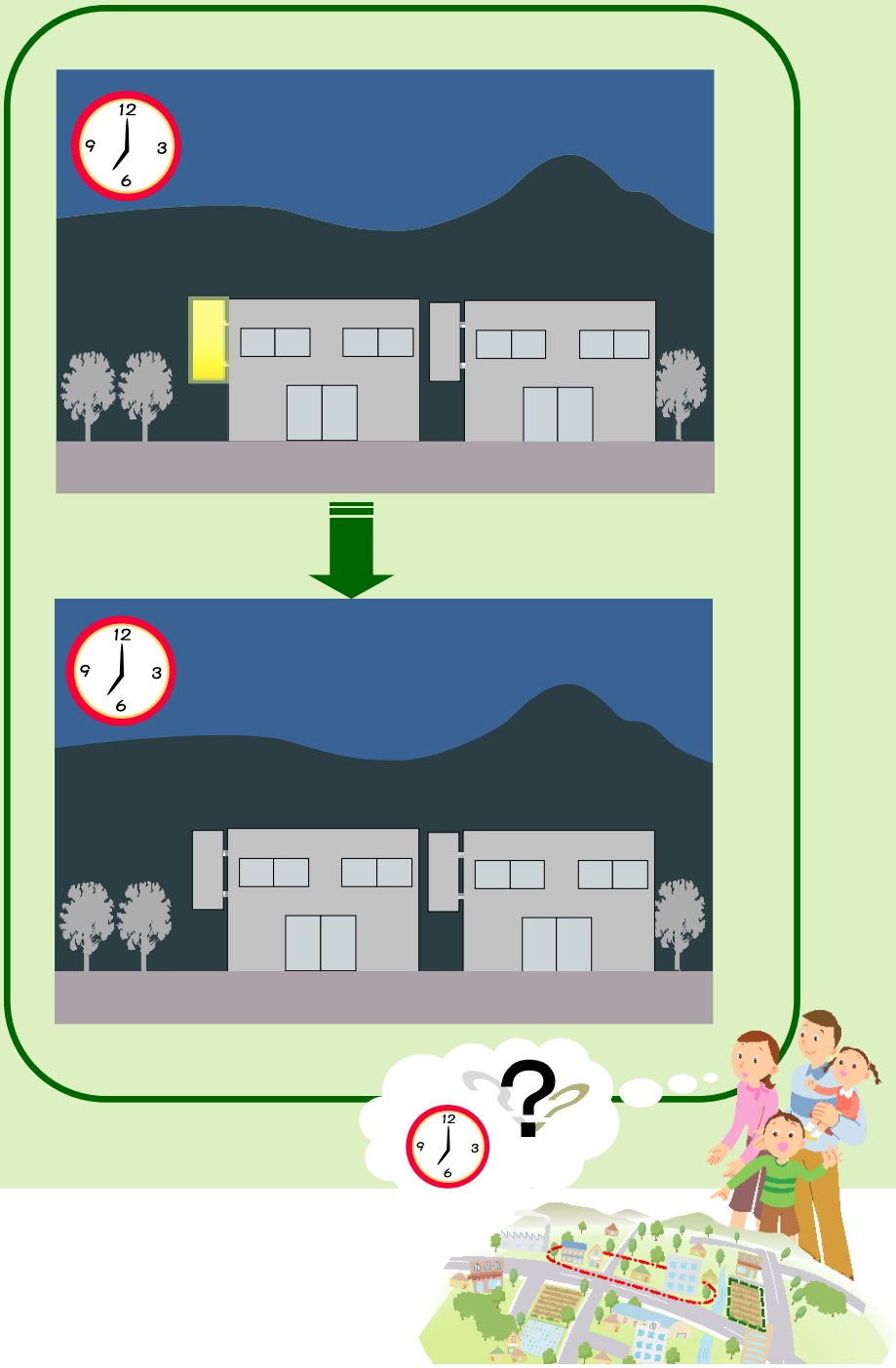
特定照明以外の目的でサーチライト・レーザー等の投光機の使用は避けましょう。

照射範囲を効率良くし、上方へ漏れる光を抑えましょう。

3.7. 屋外広告物

光源を点滅させているもの、内部照明式看板

商 環 別 普

点灯時間、明るさ等について十分に検討し、地域の景観特性に合ったものとなるよう努める。

□点灯時間、明るさなどに配慮することによって、動植物への影響を低減することができます。